

この”必要壁量チェック”（以下ツール）の使用にあたっては、はじめに下記の使用条件をお読みください。

このツールを使用したことによって、下記の使用条件に同意したものとみなします。

■使用条件

1.適用条件

- (1) 構法：木造軸組構法
- (2) 規模：建築基準法第6条第1項第4号の建築物
- (3) 範囲：建築基準法施行令第46条第4項の壁量計算の必要壁量

2.著作権

このプログラムはフリーソフトです。

このプログラム、ドキュメントおよび付属ファイルの知的所有権は、以下のとおり著作権者が有します。

Copyright (C) 2011.03 110%Architectural design room

著作権者の権利を侵害する行為は、固くお断りします。

ただし、このプログラムの複写・使用はどなたでも自由に行うことができます。

このプログラムの対価として、著作権者に金銭を払う必要はありません。

3.免責事項

このプログラムを使用したことによって発生した損害は、一切補償しません。

このプログラムに不備があっても、作者はそれを訂正する義務を負いません。

利用は使用者個人の責任において行ってください。

転載・配布の際は、下記の条件を守ってください。ただし、テスト版については、手渡しの配布を禁止します。

- (1) プログラムを改変しないこと。
- (2) このままの形態で配布すること。

書籍、雑誌、ホームページ等への収録については、あらかじめご相談ください。

4.サンプルデータ及び画面の使用制限

添付のサンプルデータまたはプログラムの動作画面を含んだドキュメントを有償で配布する場合は、事前にご相談ください。

5.フリーソフトの表示

このプログラム、または付属するドキュメントを配布する場合、および建築スクール等の教材として使用する場合、この項目（著作権及び使用条件）の内容をプリントアウトして、配布するようにしてください。

ただし、実費以上の金銭の受諾を行わないときは、この限りではありません。

6.プログラムの修正

個人で使用する際に、プログラムを修正することは差し支えありませんが、その場合でも、著作権表示は変更しないでください。修正を加えたプログラムを配布することは、ご遠慮ください。

7.動作環境

Microsoft Office Excel 2007 以上

8.参考文献他

木質構造基礎理論（日本建築学会）

木造軸組工法住宅の許容応力度設計 2008 年版（日本住宅・木材技術センター）

建築物荷重指針・同解説 2004（日本建築学会）

木造住宅設計者のための構造再入門（日経アーキテクチュア）

建築知識 2007 06（エクスナレッジ）

ヤマベの木構造（エクスナレッジ）

実務から見た木造構造設計 上野嘉久（学芸出版社）

建築技術別冊木造住宅の構造設計「改正基準法と品確法」（建築技術）

建築技術 2006 10 木造軸組住宅の壁量設計と構造計画（建築技術）

木造軸組構法住宅の構造計画の基礎と演習（日本住宅・木材技術センター）

9.パスワード

1234